

評 価 証

第 2 5 0 0 2 号

【技術の名称】

エキスパッカ - N g c 工法

(液状化防止や高強度地盤強化を効率よく実現する薬液注入工法)

1. 依 頼 者

法人の名称	日特建設株式会社
住 所	東京都中央区東日本橋 3 丁目 10 番 6 号
法人の名称	若築建設株式会社
住 所	東京都目黒区下目黒 2 丁目 23 番 18 号
法人の名称	強化土エンジニアリング株式会社
住 所	東京都文京区本郷 3 丁目 15 番 1 号

2. 評価の前提

本技術の適用にあたっては、本報告書の留意事項の他、依頼者が推奨する方法で 사용되는ものとする。

3. 評価の範囲

評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、施工実績の結果等により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書（第 2 5 0 0 2 号）に示す。

4. 評価の結果

- (1) ソイルパッカとジオフィルタ - N を備えた特殊注入外管を使用することにより、溶液型注入材では ϕ 3.0m、懸濁型注入材では ϕ 1.3m の改良体を造成し、設計基準強度を満足できることが確認された。
- (2) 注入作業において「圧力制御システム Grout Conductor」を使用することにより、注入時の圧力に応じて吐出量（注入速度）を自動制御し、1 セットあたり一度に最大 8 か所の注入圧力管理を効率的に実施できることが確認された。
- (3) 注入材として「懸濁型の注入材（ハイブリッドシリカ）」を使用することにより、造成した高強度改良地盤の強度が長期的に劣化しないことが確認された。
- (4) 「削孔機マシンガイダンスシステム（SGZAs）」を追加で使用することにより、削孔機据付け精度の向上と据付け時間の短縮を図れることが確認された。
- (5) 「注入ホース巻き上げ装置」を追加で使用することにより、削孔長が 15m 以上の場合に注入作業の省人化・省力化が図れることが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は 5 年間とする。

令和 7 年 9 月 30 日 第 25002 号

一般財団法人 沿岸技術研究センター

理 事 長 宮 崎 祥

